

謹賀新年



相馬村農業協同組合
代表理事組合長

三上道廣

新年あけましておめでとうございます。
います。

組合員及び地域住民の皆様とともに輝かしい新年を迎えられたことに謹んでご祝詞を申し上げます。

日頃より農協の各事業におきましては、格別なるご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、改正農協法が4月に施行され「農業所得の増大に最大限の配慮をし、農業者等への事業利用分量配当に努める」ことが明記され、また、農協の理事の構成や組織形態の変更などについての規定も見直されました。

一方、農業を取りまく情勢については、就農人口の減少や生産農家の高齢化、後継者不足による耕作放棄地の増加等の諸問題に直面

している中、TPP関連法案について国会での審議が十分されないまま採決となり今後、農業に大きな影響を及ぼす恐れがあります。このため、これまでの取組について改めて検証を行い、役職員の意識改革・危機意識を共有、自己改革をさらに加速し、組合員から評価される組織へと変わる必要があります。

このような中、当JAの主力作物であるリンゴについては、平年より5日ほど早く開花しその後、順調に推移しましたが一部園地に黒星病による被害が多く見られました。また、夏場に雨が少なかったことにより果実肥大等に影響が出ましたが目立つ災害等に遭うこともなく順調に収穫を迎えることができました。

産地市場価格が高騰している中、当JAの入庫数量は776,913箱（前年対比98%）となり組合員のJAに対するご協力を改めて感謝申し上げます。

また、稲作については昨年より特A米「青天の霹靂」を全地区で



栽培し、自主流通米5,148俵、
オーler一等米という結果となりま
した。

これにより稲作農家の所得向上
の一助につながればと思います。

リンゴの販売については、早生
種のつがる及び早生ふじ系・トキ
が順調に販売され、年明け以降の
販売に期待がかかりますが、競合
する柑橘類全般に食味良好となっ
ており消費形態は先行き不透明と
なっております。主力のサンふじ
を中心にキャンペーン等による消
費拡大を図り、高値販売に取り組ん
でまいります。

また、弘前市の協力を得て冬期
間農道の除雪を本年も継続して実
施してまいります。

農業生産基盤が急速に脆弱化し
ていくことが強く懸念される中、
組合員の期待に応えるとともに、
高齢化対策を最優先課題として取
組んでまいります。

本年も大きな災害の無いこと、
組合員及び地域住民の皆様が健や
かで笑顔に暮せることを願い新年
のあいさついたします。

代表理事組合長 三上 道廣

専務理事 大場 勉

理事金融共済部長 花田 敏幸

理事総務委員長 福島 憲一

理事総務委員 田澤 俊則

理事総務委員 溝江 徹

理事りんご委員長 花田 勇人

理事りんご委員 三上 隆基

代表 監事 清野 護

監事 山内 知人

員外 監事 盛 浩一

他職員一同

